

富良野演劇工場運営委員会（令和4年度第1回）顛末

日 時 令和4年8月24日（水） 15：30～16：30

場 所 文化会館 第一会議室

出席者 委員：天日委員長、原田委員、山口委員、森田委員、
演劇工房：原理事長、太田事務局長、事務局：3名

■辞令交付

■委員長選出 ～ 天日委員長

■天日委員長挨拶

■山下部長挨拶

■富良野演劇工場運営委員会の設置目的
議案の通り説明

■自己紹介

■ 報告事項 ～進行は天日委員長

(1) 令和3年度富良野演劇工場指定管理について

事務局より、指定管理期間や令和3年度に行った工事、修繕について説明。1件10万円を超える修繕などは基本的に市が負担する。

(2) 令和3年度富良野演劇工場（指定管理分）収支決算について

太田事務局長：決算としては、単年で2,000,000円以上のマイナス。要因は会場使用料が減少したこと。

天日委員長：施設修繕料・器具修繕料が計上されていないがなぜか？

太田事務局長：前年はすべて富良野市の負担となったため。

(3) 令和3年度ふらの演劇工房事業について（演劇工場開催分）

太田事務局長：自主事業としては、コロナの影響もあり4本しか行えなかったが、富良野高校演劇同好会が2年連続全道優勝するなど、これまでの取り組みが実を結びつつある。

山口委員：自分にとっては、今までは忙しすぎて、できなかったことにじっくり取り組めるなどコロナの影響が良いほうに向いたプラスの面もあった。

太田事務局長：演劇ワークショップを配信でやったことがあるが、やはり同じ空気を吸っていないとうまく伝わらないということに改めて気づく機会となった。また、自分の創作にとっては良い時間となった。

(4) 富良野演劇工場 年度別利用状況

太田事務局長：資料の通り説明

(5) 富良野演劇工場 団体別利用 延べ日数

太田事務局長：資料の通り説明